

08 AUG.

森林支援先の保全活動を視察

長野県有林、秋田県横手市



秋田県横手市

長野県有林(小海県有林)

ソフトバンク「自然でんき」支援先の森林を視察

ソフトバンクの電力プランに環境保全活動支援を加えた「自然でんき」。1契約につき毎月50円を拠出し、加入したお客様が指定した「J-リッジ」制度「認証団体」へ環境保全活動支援を行う。今回、63箇所の支援先から、長野県南佐久郡と秋田県横手市の保全活動、森林視察にEVIが同行した。

長野県 小海県有林を視察
カラマツ材の商品開発

6月12日、ソフトバンクでんき高橋氏とカルネコEVIスタッフは、長野県林務部の加藤係長と小山技師の案内で小海県有林を視察。森林面積は760haと県下では本郷県有林に次ぐ広さで、素性のよいカラマツが育ち、林道茂来線沿線には昭和元年植栽の91年生の大径木60本が残されている。間伐によって吸収されたCO2量をクレジット化し、環境貢献に取組む県内外の企業等へ販売する等、多面的な活動を展開。EVIでも数多くの環境貢献事例がある。

カラマツは、強度と赤味を帯びた色味、木目の美しさが大きな魅力。北相木村役場の坂本氏に木工品を取扱うNPO法人キタモクの

テーブルやベンチを「案内いただいた。南相木村故郷ふれあい公社篠原氏からはユニークな商品「Moccai」を「紹介していた。EVIへの参加を検討いただいた。



カラマツを製材する際に出たおが粉を再利用したバイオプラスチックをレゴの様な形状に成形したブロック「Moccai」

横手市の間伐現場を視察

6月22日、秋田県横手市へソフトバンク「自然でんき」の大角部長、勝又氏とEVIが支援先である横手市の森林組合の施業を視察。高橋市長とサービスの普及に関する様々なアイデアや取組みに関して会議。市役所にて、石山副市長(道の駅指定管理ウッディーさんない社長)と農林整備課長にEVI加藤から道の駅連携についての概要説明を行い、施設において「自然でんき」の加入で横手市の森林支援にも繋がる提案をご説明。その後、横手森林組合が間伐をすすめている整備・舗装された林道を走り入山。枝打ちされた38〜40年の杉の木を長さ2mに

カットし積載、主に合板の材料になるとのこと。現在、森林組合では、22人が在籍し、場所により異なるが、1カ月毎に場所を変えて施業をしている。遠くから見える美しい風景も森を守っている人達がいるからこそだと実感した。



TOPIC

道の駅「さんない」を視察
全国道の駅連携をご提案

6月23日、道の駅「さんない」と横手市内庁舎を訪問した。EVIの活動と鳥取県日南町カーボン・オフセット道の駅「にちなん日野川の郷」の事例をご説明。道の駅の約三分の一のアンケート結果から見える道の駅の状況と課題を解説。EVI加藤は、カルビーでプロモーション責任者を五年間勤めた経験や地域活性化伝道師としての知見を生かし、約半数の道の駅が経験している売上減少を道の駅間の商品交流で補い、クレジットを活用した森林支援など、地域活性につながる取組みを「できることから始めよう」と呼びかけた。

第2回 鳥取県日南町 ポコチェ エコ部

「にちなんエコツアー」開催!

都会では体験できない
自然を楽しむエコツアー

自然や歴史を楽しみながら森林育成や環境保全につながる「第2回にちなんエコツアー」に同行。都内で配布されているフリーペーパー「ポコチェeco部」からご参加いただいた2名と橘由夏部長、スタッフの7名で鳥取県日南町へ。今回の森林育成活動は、昨年植樹したヘーゼルナッツの成長を促すための「下草刈り」。開会セレモニーでは、日南町増原町長から挨拶をいただき、日南町森林組合の方からは鎌の使い方を教わって、普段持ちなれない大きな鎌を使いながら作業を行った。下草刈りを行うことでヘーゼルナッツの樹に太陽の光が届き、また、刈った草をそのままにすることで土の栄養分となり、樹の成長を促す。普段経験することがないだけに積極的に質問をしながら作業を行っていた。



ヘーゼルナッツの成長を促す下草刈り



森林育成活動の後には、eco部員で田んぼをシェアしているエコファームHOSOKAWAを見学。夜は、福万来へ賞鑑賞へ向かい、ヒメボタルとゲンジボタルの幻想的な光景を堪能した。

二日目は、古事記にゆかりのある大國主命の復活の地「大石見神社」と「福栄神社」を参拝。昼食は、アメダス茶屋で美味しい創作イタリアンと、道の駅「にちなん日野川の郷」でお買い物を楽しんだ。1品につき1円が日南町の森林支援につながることを伝えるとみな関心された様子だった。

参加者の積極的な動画や画像配信を通して、町の魅力やEVI商品を紹介していただいた。橘部長からは「エコツアーも2回目となり森林・環境保全の理解が深まってきた」とのコメントも。

EVIは、約70%が森林という日本で、森林保全を身近に体験できる機会をこれからも増やしていきたい。

今年もEVIが登壇

全国地方銀行協会 異業種交流会

2017年6月、全国地方銀行協会研修所にて、第151回中堅行員啓発講座「異業種交流会」が行われ、ゲストスピーカーとして、カルネコ株式会社代表取締役社長 加藤孝一が登壇。昨年に続き、EVIの活動とその事例について講演し、その後のパネルディスカッションでは、2時間半におよぶ交流会に参加した。参加者は、全国28行の地方銀行の若きホープ59名。講演者は、ほかにオリックスM&Aご担当の谷村副部長。3部構成で、これからの日本の地方を支える若きバンカー相手に、加藤の森林に対する熱い想いと課題意識を伝えた。企業、消費者と密接な関わりを持つ地銀の今後の役割とEVIとの連携に、これまで以上の新しい風を吹かせていきたい。



受付開始

8/1(火)

第7回

EVI 環境マッチングイベント2017

— 持続可能な社会のための環境貢献最先端成功事例 —



開催テーマ

私たちにできること。

専門家が語る地球環境の役割と現状、企業や自治体による環境貢献成功事例、今日から始められる「環境貢献」と皆様の交流の場をご提供します。

- 日時：10月24日(火) 10:00 開場・受付(予定)
- 場所：東京国際フォーラム(有楽町) B7ホール
- 主催：カルネコ株式会社 EVI推進協議会

一般100名様/企業200名様

入場無料

事前登録制

<https://www.evic.jp/evi/event2017/tokyo1024/>